

白浜町教育委員会 会議の結果

件名	平成29年度 1月定例教育委員会
日時	平成30年1月26日(金) 午後2時00分～午後3時28分
場所	教育委員会 会議室
出席者	○教育委員 山中教育長、尾崎委員、辻委員、二杉委員、藤藪委員 ○職員 高田教育次長、新田教育次長補佐、小河畑教育次長補佐、山中中央公民館長、森本児童館長、岡田総務学事係長、玉本生涯学習係長、辻田図書館係長、田中総務学事係主査、岡山教育指導係指導主事

1. 教育委員長開会あいさつ

皆さん、こんにちは。

定例教育委員会の前に、ご報告させていただきます。

本日の出席委員は、5名ですので、会議は成立しております。

ただ今から12月定例教育委員会を開会します。

本日は、付議事項の議案3件についてご協議をいただきたいと思います。ご審議よろしくお願いいたします。

2. 会議録署名員の氏名

会議録署名委員に二杉委員が指名される。

3. 付議事項

議案第2号 平成30年度教育費当初予算について教育次長より説明を行った。

【質疑応答】

藤藪委員

37ページの学童保育費の7賃金の指導員賃金や節8報償費の相談員謝礼金は何人の方がどういう形で働いているのか。

総務学事係長

指導員は各学童保育では児童10人に1人の体制で配置しております。

何人かのパートの方がシフトで組んでおります。白浜学童、富田学童、日置のガンバクラブ、町直営の3つの学童保育所の指導員の数で言いますと、予定では20数名になってこようかと思えます。学童全体で二十数名の賃金を計上しています。相談員謝礼金1,900千円につきましては1名ではなく3名の元園長経験者を各学童保育所へ交代で入っていただいております。全員で25名程度で運営する予定です。

- ・審議の結果、委員全員異議なく、議案第2号 平成30年度教育費当初予算について、原案のとおり承認した。

議案第3号 平成29年度白浜町教育委員会事務事業等について教育次長、教育指導係指導主事、生涯学習係長、中央公民館長、児童館長、図書館係長より説明を行った。

【質疑応答】

尾崎委員

5ページの2自ら学び自ら考える力の育成の(7)今年度より2名の図書館司書を配

置しと書いているのですが、今年度の取組状況の中では図書館司書のことが一つも出てこない。しかも今年から新しく配置された訳ですが、各学校において学校図書館でこういう活動をしたよという事例はなかったのですか。ここには読み聞かせボランティアや図書ボランティアの活動は出てきているのですが学校司書の役割ということでの取組み状況はなかったのですか。

教育次長補佐

学校にもよりますけど、蔵書の整理等が主な活動になっておりまして、それが進みますと図書室のレイアウトを変更された例もあります。図書主任の先生も担任を持っておられる方が多くて、図書館司書が少しでも早く新刊コーナーを作っていたいたり、そういう業務を今行っております。あと、図書ボランティアと連携して図書館司書が入る日に合わせて、書籍の整理を行っていたり、今つながりを作っている段階であると思います。

学校からはこういう事業をやりましたという報告は特に聞いていないところです。

辻委員

住民の方向けに評価報告書をホームページで公開すると思いますが、ご覧になられて解り難いところがあればと思ひまして。評価委員の会議記録の中に1点検・評価の概要及び報告書に関する意見とありますね。その二つ目の○のところでは学校教育は内容が抽象的になりすぎている部分があるように思うので分かりにくいと書いてある。委員さん3名のうちの2名は元教員で1名は教員でなかったと思います。教員でない方が学校教育の重点目標を見たら内容が抽象的になりすぎているように思われるんですか。どの辺が抽象的なのかな。私が見たら非常に良く出来ていると思うのですが。

教育次長補佐

昨年も評価いただいたのですが。社会教育であれば行事が変われば内容が変わることがありますが、学校教育は方針的なものになりますので、大きく内容が変わっていないところがあります。我々としたら出来るだけ具体的に書いてるつもりなのですが、本当に取組を一つ一つ書き出すとページ数がかなり増えて、かえって見難くなるのではないかと思います。この程度に留めている部分もありますので、去年と比較しての意見も入っているかなと思います。

辻委員

どの辺が抽象的なのかな。白浜町の学校教育の重点目標の3ページ1 学校経営の確立の主な取組の(2) 学校長の強い指導力の下、その経営構想が全教職員によく理解され学校教育目標が学年・学級をはじめ各領域に浸透し、課題が達成されるよう意欲的に取り組む。各学校は学校教育目標できちっと定めているのですか。学力を高めるとか身体を鍛えるとか。きちっと具体的に目標が出てくるのですが。各学校が具体的に目標を立ててますので、抽象的でもないと思うし、全体的に非常に良く出来ている重点目標だと思います。また、評価委員会でも各学校が具体的に目標を立ててますと説明したら理解できると思います。

教育次長補佐

ありがとうございます。内容につきましても記載の方法とか、見直していかないといけない部分もあるのかなと内部では話をしております。例えば主な取組で記載したことについて、今年度の取組状況を出来たかできなかったのかというふうな書き方にするのかとか、その方がわかりやすいのではないかと内部の意見もありまして、重点目標を立てる時にその辺も課内で話し合っって目標を立てていきたいなと思います。来年度は評価委員さんとも意見を交わしながら進めていきたいと思ひます。

尾崎委員

6ページの3人権教育の推進の7ページ本年度の取組状況の上から3つ目の○ですけど基本的な生活習慣の定着に向けて(中略)課題の克服に向けての取組みが実施されている

と記載されてますね。上の○では、いじめの問題についてはとか、下の○では不登校に対する指導についてはと書いてあるが、対象者がわかりにくいですね。例えば児童生徒全員なのか、課題を抱えている子どもについて書いているのかが解りにくい。そのあたりの言葉入れた方がわかりやすいのではないかと思います

教育次長補佐

このことについては各関係機関と連携してという標記もありますので課題のあるお子様についてであると思います。

尾崎委員

課題を抱えている子どもについてはという、言葉入れた方がわかりやすいのではないかと思います。

教育次長補佐

その辺は指導主事と検討していきたいと思います。

4. 秘密会

議案第1号 平成29年度 要保護及び準要保護児童生徒の認定について